

## 婚 姻

平成 30年 11 月 5 日届出

郵送の日を記入

在イタリア日本国

※ 記入を間違えた場合は、二重線で消した上 でその上部(もしくは下部)に正しく書き直し、 印または拇印を押してください。

修正液、修正テープは使わないでください。

														_
				夫	きに	な	る人		妻	に	な	る	人	_
(1)	(1	こみか	1 た)	4).	ょうじ	こじろう	<u> </u>		が	いむ	きょう	5 <b>.</b>		
(1)	氏		名		氏		名		į,	氏		名		
				î	事	小清	邻		外	務	今	日子		
	生	年	月 日		平成	5 年	9月20	日		平成 8	8 年	月	6 日	√ H
名から番地	までを	きカ		イタリ	ア国シ	エナ県シ	工十市			同	左			
カナで記入	. 11	. nb	所	レな	ブリカロ	5場4	番地番	뭉				番地		は
≔通り、Vica ale•Corso				世帯主の氏名	領事	小次的	ß		世帯主 の氏名	同	左			で (昭
azza=広場、		籍		大阪府大阪市中央区大手前			東京都千代田区霞ヶ関				— (FE			
alità=地区	_	ときは、			2丁目11 番地				1丁目5 番					
	してく	暗だける ください	(番い)	筆頭者の氏名	領事	忠次			筆頭者 の氏名	外務	大助			
	父	母の	氏名				続き	柄	42				続き	柄
	/ 化	まとの) の養父	競き枘母は∖	^ 限	事忠				71	務 7				
	(書	の養父 の他 いてくた	欄にし	母	維	子	長	男	母	₹	<b>事子</b>		<u>=</u>	女
(4)	婚如	世後の	夫婦の	☑夫の₽	五 新	本籍 佐の	図の氏の人が	すでに戸	籍の筆頭者と	なってい	るときは書		ださい番地	
(4)	氏.	\$45 T	1 + 400	口まのロ	T									
	708	材し	V, 平 精	□妻の₽	7	大阪府	大阪市	中央	区大	手前2	2丁目	11=	W	
暦で記入(					30年	大阪府 1	(紀	吉婚式を	区大 あげたと うち早い	き、また	とは、同点	子 Bを始め	117.  117	
暦で記入 (6)	(昭和、	. 平成)		平向		□死別	(紀	吉婚式を	あげたと	き、また	とは、同点 書いてくた □死別	子 Bを始め	) )	日)
	(昭和、初州	・ <b>平成</b> ) ・・再	婚の別	平向 ☑初婚	30年	□死別	月(紀た	吉婚式を とときの 日)	さあげたと うち早い ①初婚	き、またほうを制	とは、同原 書いてくた □死別 □離別	居を始め	) )	H)
(6)	初婚 同前	<b>平成</b> ) ・ 再 居 を 始 ミ 夫婦	婚の別るれ	● 平向 ②初婚 失 失	<b>30</b> 年 再婚 ( 妻 1. 妻 2.	【□死別 □離別 - 農業だけ - 自由業・	月 (紀た 年 月 または農業と 商工業・サー	告婚式を とときの 日) とその他 ービス業	あげたと うち早い 図初婚 の仕事を持	き、またほうを書	とは、同原書いてく7 □死別 □離別 □世帯 こいる世帯	舌を始めださい年	<del>盾</del> ?) 月	
	(昭和、初州	<b>平成</b> ) ・ 再 居 を 始 ラ 夫婦	婚の別るれ	平向 ②初婚 夫 夫	<b>30</b> 年 再婚 ( <u>妻</u> 1. <u>妻</u> 2. <u>妻</u> 3.	】 □死別 □離別 ・農業だけ ・自由業・ 企業・個	月 (紀た 年 月 または農業と 商工業・サー 人商店等(官	き婚式を 日) とその他 ービス業	であげたと うち早い で初婚 の仕事をお 等を個人で	き、またまりをする。	とは、同別 書いてくり 一死別 一離別 き世帯 いる世帯	居を始めたさい年	月	人か
(6)	初婚 同前	<b>平成</b> ) ・ 再 居 を 始 ミ 夫婦	婚の別るれ	平的 ②初婚 夫 夫	<b>30</b> 年 再婚 ( <u>妻</u> 1. <u>妻</u> 2. <u>妻</u> 3.	一   一   一   一   一   一   一   一   一   一	月年ま商、商の世の祖の世の祖の世の祖の世の祖の世の祖の世の祖の世の祖の世の祖の世の祖の世の	はなるのでは、 はなきのでは、 はなきのでは、 はないではないではないではないではないではないではないではないではないではないで	の仕事を表 会会()の生産 を会し、 の仕事を表す。 会会()の常見は は1年及び 他の仕事を	き、また。	には、同原 をいてくり 一所別 一階別 一世帯 にいる世帯 で務めらり 配用者の世界 ので発見の世界	まを始めた 年 たの従業 たのは、	月	人か
(6)	初婚 同前	<b>平成</b> ) ・ 再 居 を 始 ミ 夫婦	婚の別るれ	平的 ②初婚 夫 夫 夫	<b>30</b> 年 再婚 ( <u>妻</u> 1. <u>妻</u> 2. <u>妻</u> 3. <u>妻</u> 4.	一 一 一 所 別 一 農業 主 ・ 金 を り り り も に に り り し に に に に に に に に に に に に に	月年 月 ま商 所のいちのいちのいちのいちのいちのいちのいちのいちのいちのいちのいちのいちのいちの	古が上、 日	であげたといううち早いの仕事をおいる。 の仕事をおいる。 の仕事をおいる。 の仕事をおいる。 の仕事をおいる。 は1年表び、 他の仕事を、 他の仕事を、 では1年表び、 他の仕事を、 では1年表が、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは	きます ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	とは、同によっては、同によってのでは、「一のでは、「一のでは、」では、「一のでは、」では、「一のでは、「一のでは、「一のでは、」では、「一のでは、」では、「一のでは、「一のでは、「一のでは、「一のでは、「一のでは、「一のでは、「一のでは、「一のでは、「一のでは、「一のでは、」では、「一のでは、「一のでは、「一のでは、「一のでは、「一のでは、「一のでは、「一のでは、「一のでは、「一のでは、「一のでは、」では、「一のでは、「一のでは、「一のでは、「一のでは、「一のでは、「一のでは、「一のでは、「一のでは、「一のでは、「一のでは、」」では、「一のでは、「一のでは、「一のでは、「一のでは、「一のでは、「一のでは、「一のでは、」では、「一のでは、」では、「一のでは、」」では、「一のでは、「一のでは、「一のでは、」では、「一のでは、「一のでは、「一のでは、「一のでは、」では、「一のでは、」」では、「一のでは、「一のでは、「一のでは、」では、「一のでは、「一のでは、「一のでは、「一のでは、」では、「一のでは、「一のでは、」」では、「一のでは、「一のでは、「一のでは、」では、「一のでは、「一のでは、」では、「一のでは、」では、「一のでは、」では、「一のでは、」では、「一のでは、」では、「一のでは、」では、「一のでは、」では、「一のでは、」では、「一のでは、「」では、「」では、「」では、「」では、「」では、「」では、「」では、「」	居を始めい 年 たの従業 世帯	<del>順</del> 月 者数が1. セまたに	人か
(6)	(昭和、 相切 目前でお	<b>平成)</b> ・ 再 居 夫 か 婦 世 付	婚の別るれ	平的 ②初婚 夫 夫	<b>30</b> 年 再婚 ( <u>妻</u> 1. <u>妻</u> 3. <u>妻</u> 3. <u>妻</u> 4. <u>妻</u> 5. 6.	一 一 一 所 別 一 農業 主 ・ 金 を り り り も に に り り し に に に に に に に に に に に に に	月年ま商、商の世の祖の世の祖の世の祖の世の祖の世の祖の世の祖の世の祖の世の祖の世の祖の世の	語と 日 の スロー 公口 用 はいな 要年3月3 の世 3 第45 その と 中 公口 用 はいな 翌年3月3 の世 3 第5 の 世 3 第5	であげたといううち早いの仕事をおいる。 の仕事をおいる。 の仕事をおいる。 の仕事をおいる。 の仕事をおいる。 は1年表び、 他の仕事を、 他の仕事を、 では1年表び、 他の仕事を、 では1年表が、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは	きまたすが、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは	とは、同によっては、同によってのでは、「一のでは、「一のでは、」では、「一のでは、」では、「一のでは、「一のでは、「一のでは、」では、「一のでは、」では、「一のでは、「一のでは、「一のでは、「一のでは、「一のでは、「一のでは、「一のでは、「一のでは、「一のでは、「一のでは、」では、「一のでは、「一のでは、「一のでは、「一のでは、「一のでは、「一のでは、「一のでは、「一のでは、「一のでは、「一のでは、」では、「一のでは、「一のでは、「一のでは、「一のでは、「一のでは、「一のでは、「一のでは、「一のでは、「一のでは、「一のでは、」」では、「一のでは、「一のでは、「一のでは、「一のでは、「一のでは、「一のでは、「一のでは、」では、「一のでは、」では、「一のでは、」」では、「一のでは、「一のでは、「一のでは、」では、「一のでは、「一のでは、「一のでは、「一のでは、」では、「一のでは、」」では、「一のでは、「一のでは、「一のでは、」では、「一のでは、「一のでは、「一のでは、「一のでは、」では、「一のでは、「一のでは、」」では、「一のでは、「一のでは、「一のでは、」では、「一のでは、「一のでは、」では、「一のでは、」では、「一のでは、」では、「一のでは、」では、「一のでは、」では、「一のでは、」では、「一のでは、「一のでは、」では、「一のでは、」では、「一のでは、」では、「一のでは、」では、「一のでは、」では、「一のでは、」では、「一のでは、」では、「一のでは、」では、「一のでは、」では、「一のでは、」では、「一のでは、」では、「一のでは、」では、「一のでは、」では、「一のでは、」では、「一のでは、」では、「一のでは、」では、「一のでは、」では、「」では、「」では、「」では、「」では、「」では、「」では、「」で	居を始めい 年 たの従業 世帯	<del>順</del> 月 者数が1. セまたに	人か
(6) (7)	(昭和、樹屋 同前ぞお 夫	・ 再 を 婦世代 の 3	が が が を 帯事 職 の を で を で で の の の を で で の の を で の の に 。 に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に 。 に る に 。 。 に 。 。	字 初婚 夫 夫 夫 夫 夫 夫 夫 夫 夫 夫 夫 夫 夫 夫 夫 夫 夫 夫 夫	まるの年 再婚 ( 妻 1. 妻 3. 妻 4. 妻 5. 6.	一 一 一 所 別 一 農業 主 ・ 金 を り り り も に に り り し に に に に に に に に に に に に に	月年 日	古がと 日 他 業 はた労 の世 第43月3	であげたといううち早い が知婚の仕事を持て 余く)の常見 着世帯及び 他の仕事を 帯間日までに届	きほ 再 で 経 動の社 て いると と し 出 を 立 、 シコ	には、「同人」 「一人」 「一人」 一一人。 一一一人。 一一一人。 一一一人。 一一一人。 一一一人。 一一一人。 一一一人。 一一一一。 一一一一。 一一一一。 一一一一。 一一。 一一。 一一。 一一一。 一一一。 一一一。 一一一。 一一一。 一一一。 一一一。 一一一。 一一。 一一。 一一。 一一。 一一。 一一。 一一一。 一一一。 一一一。 一一一。 一一一。 一一一。 一一。 一一。 一一一。 一一一。 一一一。 一一一。 一一一。 一一一。 一一一。 一一一。 一一一。 一。	またの従業 たの従業 も世帯 いてくださ	<del>順</del> 月 者数が1. セまたに	λ.// <sup>1</sup> 1. 1
(6)	(昭和、樹屋 同前ぞお 夫	平成) ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	が が が を 帯事 職 の を で を で で の の の を で で の の を で の の に 。 に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に 。 に る に 。 。 に 。 。	平向 名 初婚 大夫 大夫 (国 参 調 金 夫 の 職 )	まるの年 再婚 ( 妻 1. 妻 3. 妻 4. 妻 5. 6.	一	月年 日	古がと 日 他 業 はた労 の世 第43月3	の仕事を表で、 会く)の年末 が会く)の年末 が会く)の年末 が会く)の年末 が会と)の年末 が会と)の年末 が会と)の年末 が会と)の年末 が会と)の年末 が会と)の年末 が会と)の年末 が会と)の年末 が会と)の年末 が会と)の年末 が会と)の任事を が表さり、 の仕事を のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、	きほ 再 で 経 動の社 て いると と し 出 を 立 、 シコ	には、同くが 「一年の 「一年の 一年の 一年の 一年の 一年の 一年の 一年の 一年の	またの従業 たの従業 も世帯 いてくださ	<b>番</b> り) 月 者数が1, 々またにい)	λ.// <sup>1</sup> 1. 1
(6) (7)	(昭和、姆 月前ぞお 夫	・ 再 を 婦世代 の 3	が が が を 帯事 職 の を で を で で の の の を で で の の を で の の に 。 に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に 。 に る に 。 。 に 。 。	平向 名 初婚 大夫 大夫 (国 参 調 金 夫 の 職 )	まるの年 再婚 ( 妻 1. 妻 3. 妻 4. 妻 5. 6.	一	月年 日	古がと 日 他 業 はた労 の世 第43月3	の仕事を表で、 会く)の年末 が会く)の年末 が会く)の年末 が会く)の年末 が会と)の年末 が会と)の年末 が会と)の年末 が会と)の年末 が会と)の年末 が会と)の年末 が会と)の年末 が会と)の年末 が会と)の年末 が会と)の年末 が会と)の任事を が表さり、 の仕事を のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、	きほ 再 で 経 動の社 て いると と し 出 を 立 、 シコ	には、「同人」 「一人」 「一人」 一一人。 一一一人。 一一一人。 一一一人。 一一一人。 一一一人。 一一一人。 一一一人。 一一一一。 一一一一。 一一一一。 一一一一。 一一。 一一。 一一。 一一一。 一一一。 一一一。 一一一。 一一一。 一一一。 一一一。 一一一。 一一。 一一。 一一。 一一。 一一。 一一。 一一一。 一一一。 一一一。 一一一。 一一一。 一一一。 一一。 一一。 一一一。 一一一。 一一一。 一一一。 一一一。 一一一。 一一一。 一一一。 一一一。 一。	またの従業 たの従業 も世帯 いてくださ	<b>番</b> り) 月 者数が1, 々またにい)	λ.// <sup>1</sup> 1. 1
(6) (7)	(昭和、姆」のは、夫 そ の	・ 再 を 婦世代 の 3	が が が を 帯事 職 の を で を で で の の の を で で の の を で の の に 。 に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に 。 に る に 。 。 に 。 。	平向 名 初婚 大夫 大夫 (国 参 調 金 夫 の 職 )	まるの年 再婚 ( 妻 1. 妻 3. 妻 4. 妻 5. 6.	一	月年 日	古がと 日 他 業 はた労 の世 第43月3	であずりをいいます。 がおります。 の仕事のの生産が、 の仕事のの生産が、 の仕事のの生産が、 の生産が、 の生産が、 の性のでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	きほ 再 て 営 労契団 い と さ シンコ	には、「同人」 「一人」 「一人」 一一人。 一一一人。 一一一人。 一一一人。 一一一人。 一一一人。 一一一人。 一一一人。 一一一一。 一一一一。 一一一一。 一一一一。 一一。 一一。 一一。 一一一。 一一一。 一一一。 一一一。 一一一。 一一一。 一一一。 一一一。 一一。 一一。 一一。 一一。 一一。 一一。 一一一。 一一一。 一一一。 一一一。 一一一。 一一一。 一一。 一一。 一一一。 一一一。 一一一。 一一一。 一一一。 一一一。 一一一。 一一一。 一一一。 一。	まをい 年 たの ( たり) 作 世 帯 マ マ で で で く だ さ く て く て く て く て く て く て く て く て く て く	<b>番</b> り) 月 者数が1, 々またにい)	λ.// <sup>1</sup> 1. 1
(6) (7)	(昭和、姆」のおります。 夫 そ	・ 再 を 婦世代 の 3	が が が を 帯事 職 の を で を で で の の の を で で の の を で の の に 。 に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に 。 に る に 。 。 に 。 。	平向 名 初婚 大夫 大夫 (国 参 調 金 夫 の 職 )	まるの年 再婚 ( 妻 1. 妻 3. 妻 4. 妻 5. 6.	一	月年 日	古がと 日 他 業 はた労 の世 第43月3	かうちが では で で で で が が は 世 が は 世 が は 世 が は 世 が は 世 が は 世 が は 世 が は 世 が は は 世 が は は ま た は 世 が は は ま た は 世 が は は が は は ま た か は は か は は ま た は は か は は は か は	きます 「おきない」 「まない」 「まないい」 「まない」 「まない」 「まない」 「まない」 「まない」 「まない」 「まな	には、て、別別 一番 世帯 世帯 一番 一番 では、 で、別別 一番 一番 で、 ・・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	またが年 またが、年 たり、世帯 いてくださ	<b>番</b> り) 月 者数が1, 々またにい)	λ.// <sup>1</sup> 1. 1
(7)	(昭和、姆」のは、夫 そ の	・ 再 を 婦世代 の 3	が が が を 帯事 職 の を で を で で の の の を で で の の を で の の に 。 に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に 。 に る に 。 。 に 。 。	平向 型初婚 夫夫 大夫 大夫 大夫 大夫 大夫 大夫 大力の職 の 月 15	<b>30</b> 年 再婚 ( 妻 1. 2. 3. 4. 5. 6.	一	月 年 ま 商 人では契めていの4月1日 の 方 では N の の 方 に X に	古がと 日 他 業 はた労 の世 第43月3	あうう 初野を大くは世代の の年及 事が日本の 明明 カー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	きほ 再 で発動の社 し と シシ 拇色 まを M いし を シシ 拇色 な で 世の体 い こ る と ココ	は、て、別別は帯で、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般で	また。 また。 また。 また。 また。 また。 また。 また。	番 月	λ.// <sup>1</sup> 1. 1

(届出人の連絡先及び電話番号



## 婚 姻 届

平成 30 年 11 月 5 日届出

郵送の日を記入

在イタリア日本国 ※領事 月

(届出人の連絡先及び電話番号

※ 記入を間違えた場合は、二重線で消した上でその上部(もしくは下部)に正しく書き直し、 印または拇印を押してください。

修正液、修正テープは使わないでください。

		夫になる人	妻になる人	
	(よみかた)		がいむ きょうこ	
(1)		氏 名	氏 名	
	氏名	ビアンキ ルカ	外務 今日子	
	生年月日	1988 年 9月20日	平成5年11月6日	
国名から番地		イタリア国シエナ県シエナ市	1	日本の生
コロルラ田心 カタカナで記	· · ·	来地	番地	めま
/ia=通り、Vice	olo=小路			で記
/iale・Corso=; Piazza=広場、	大通り、	世帯主 ピアンキ ルカ	世帯主 同 左	昭和
-razza-/丛場、 -ocalità=地区	<u>₹</u>	国籍・イタリア国 番地	東京都千代田区霞ヶ関	平成
	ときは、	番	1 丁目5 番	
	てください	筆頭者 の氏名	筆頭者 外務 大助	
	父母 の氏名 父母との続き柄	父ビアンキ マリオ 続き柄	ダ 外務 大助 続き柄	
	(他の養父母は) その他の欄に			
	【 その他の欄に 】 書いてください 】	母 ルギア 長男	<b>春子</b>	
	婚姻後の夫婦の	□夫の氏 新本籍 佐の図の氏の人がすでに戸	籍の筆頭者となっているときは書かないでください)	日本
(4)	氏・新しい本籍	東京都千代田区	11178	の場
和展示記 7	(昭和 亚成) 上主	一	をあげたとき、または、同居を始め	よ、利
和暦で記入		111111111111111111111111111111111111111	/□延則	で記入
(6)	初婚・再婚の別	□初婚 再婚 (□死別 2015年 3月18日)	☑初婚 再婚 (□離別 年 月 日)	
	同民を始める	ま 1. 農業だけまたは農業とその船	The state of the s	
(7)	同居を始めるれずれの世帯の		業等を個人で経営している世帯 除く)の常用勤労者世帯で務め先の従業者数が1人か	
	ぞれの世帯のおもな仕事と		は1年未満の契約の雇用者は5) 者世帯及び会社団体の役員の世帯(日々または1	
		年未満の契約の雇用者は5)	り他の仕事をしている者のいる世帯	
		夫妻     5. 1から4にあてはまらないその       夫妻     6. 仕事をしている者のいない世界		
(8)	夫妻の職業		31日までに届出をするときだけ書いてください)	
A751		大の職業	妻の職業 はり婚姻成立、 <b>シエナ県</b> 作成の	
	平成 30 年 10 婚姻証書添付。	月15日 イタリア国 の方式によ	り婚姻成立、シエナ県 作成の シエナ市役所	
	そが明証音がり。		/ <b>1</b> 1/13(1)	
	0		-	
			印または拇印(スタ	
	4.6		- - 0-1-10-19-F - \/-> /-	ili.
	他		ンプは何色でも可)	
	他		ンプは何色でも可)	
	届 出 人	夫	ップは何色でも可) * 外務 今日子 (株)	